

クロスロードに薫る歴史と町並みが魅力のまち

八木札の辻

yagi-fudanotsuji

開催期間 11月1日(金)~11月11日(日)

開場時間 10:00~16:30

※会場により異なる場合があります。

アクセス方法

近鉄 大和八木駅→約5分

八木西口駅→約10分

JR 畝傍駅→HANARART こあ会場



Y3 JR 畝傍駅 貴賓室

明治期には畝傍御陵や橿原神宮への最寄駅で、皇室の参拝のため貴賓室が設けられました。現在の駅舎は昭和15年のもので、橿原神宮と同じ台湾檜をつかった総白木造りが特徴です。今上天皇のご成婚報告(昭和34年)に使用されて以来、皇室の使用はなくなり、旧国鉄の衰退もあって、無人となった駅舎は昔日の繁栄の面影を残すのみとなりました。



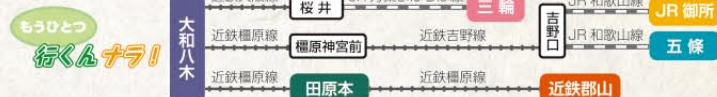
Y1 八木札の辻交流館

橿原市指定文化財 登録名:東の平田家(旧旅籠) 今から1400年も前の飛鳥時代に開かれた古道である横大路(伊勢街道)と下ツ道(中街道)の交差点が「八木札の辻」です。近世・江戸時代になると近郊の商業の中心地となり、また伊勢参りや大峰山への参詣で大変賑わいました。その様子は「西国三十三所名所図会」(嘉永6年(1853年))に当時の東の平田家(旧旅籠)と共に生き生きと描かれています。絵図の2階の街道筋に手すりがかかっている旅籠の様相を改修した建物と見比べてください。歴史的な建造物の景観が蘇りました。また「東の平田家」に保存されていた古文書、「大阪浪速講 伊勢道中記 御定宿附」(江戸時代、大阪から伊勢にいたる旅籠のガイドブック)に「八木 木原屋(さわらや) 嘉右衛門」として紹介されています。建築時期を記した資料は見つかっていませんが、古文書、構造手法、鬼瓦の葺(へら)書(天保七申六月作)などから、18世紀後半から19世紀前半に建築されたと考えられます。



Y2 深瀬家

八木の町を南北に貫く古道「下ツ道」に東面する商家で木組問屋を営んでおられました。大正初期に改築されたもので、明治期までのつし二階から脱却した本二階建てで、八木ではこれに倣った建物が続いて建てられるようになりました。現在も使われている大戸口や、背の高い二階の黒漆喰の虫籠窓が外観の特徴で、江戸・明治・大正・昭和初期の伝統建築の町並みのなかであってひときわ八木らしさを醸しています。



NPO法人八木まちづくりネットワーク

伝統文化や建築物などの歴史的資産を活かすつ、住環境の改善を行い、「歴史を尊重する生き生きとしたまち」として活性化することを目指しています。

- :こあ会場 ●:もあ会場 ■:その他商家 ○:バス停 24:コンビニ i:インフォメーション
- P:駐車場 GS:ガソリンスタンド トイ:トイレ 社:神社 寺:寺 学:学校 食:お食事どころ
- 土:土産屋 カ:カフェ SP:サブリースPROJECT (P30参照)

八木札の辻 MAP



大阪と伊勢街道を結ぶ日本最古の国道「横大路」と、藤原京の幹線道路で平城京の朱雀大路に連なる「下ツ道」の交差点「札の辻」がまちの中心となっています。今も残る旅籠や町家が当時の面影を残します。今回のみどころは改修したばかりの元旅籠と大正初期の豪商の名建築です。

イベント

奈良の町家に住みませんか?

11/8 日 13:30~15:00

町家見学ツアー 八木札の辻(橿原市)

集合:かしはらナビプラザ前
料金:無料
問い合わせ
NPO法人八木まちづくりネットワーク
TEL&FAX 0744-22-2010